

「セルフケア卸将来ビジョン」の発刊について

このたび、団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据えて、今後、大衆薬卸がセルフケア卸として目指す方向性を明確に示した「セルフケア卸将来ビジョン」を策定しました。

2005年10月に当連合会は「大衆薬卸業将来ビジョン」を策定し、大衆薬卸が目指す方向性を示しました。それから12年が経過し、少子高齢化は更に進み、日本の人口は減少に転じ、膨らむ医療費と限られた税収の中でこれまでどおりの社会保障を維持していくことが困難な状況になっています。このため、政府は、社会保障制度を維持可能なものにするために、医療費の抑制をはじめセルフメディケーションを推進するなど、大衆薬卸を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

この将来ビジョンは健康寿命延伸市場を創出するための幕開けとなるものです。実効性のあるものにするために大衆薬卸協議会において進捗状況を検証していくと同時に、会員企業各社がこのビジョンを活用され、自社のビジョン策定の一助となることを切に望みます。